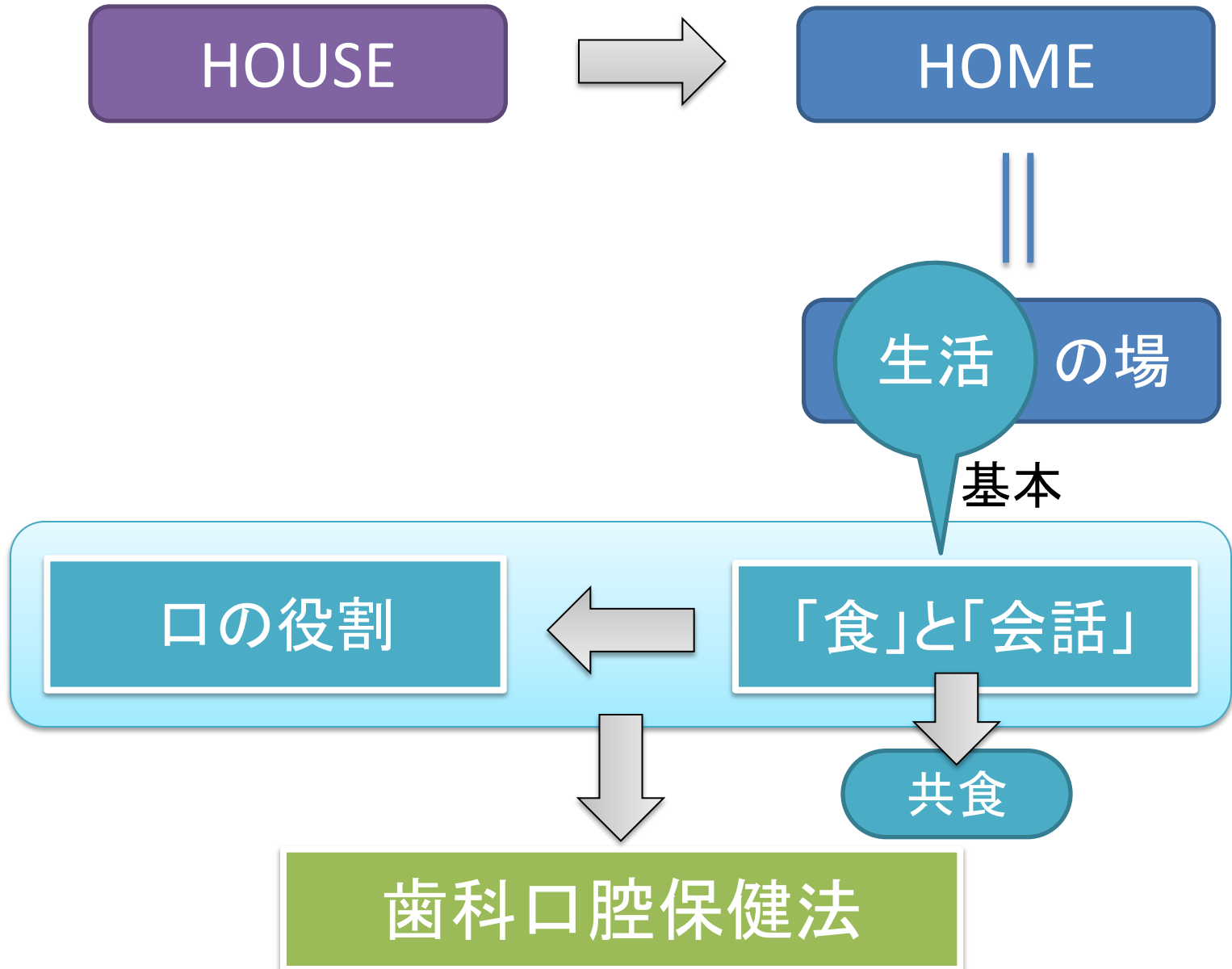


健康長寿の実現のために

平成25年5月9日
健康・省エネシンポジウム
IN 経団連 VI

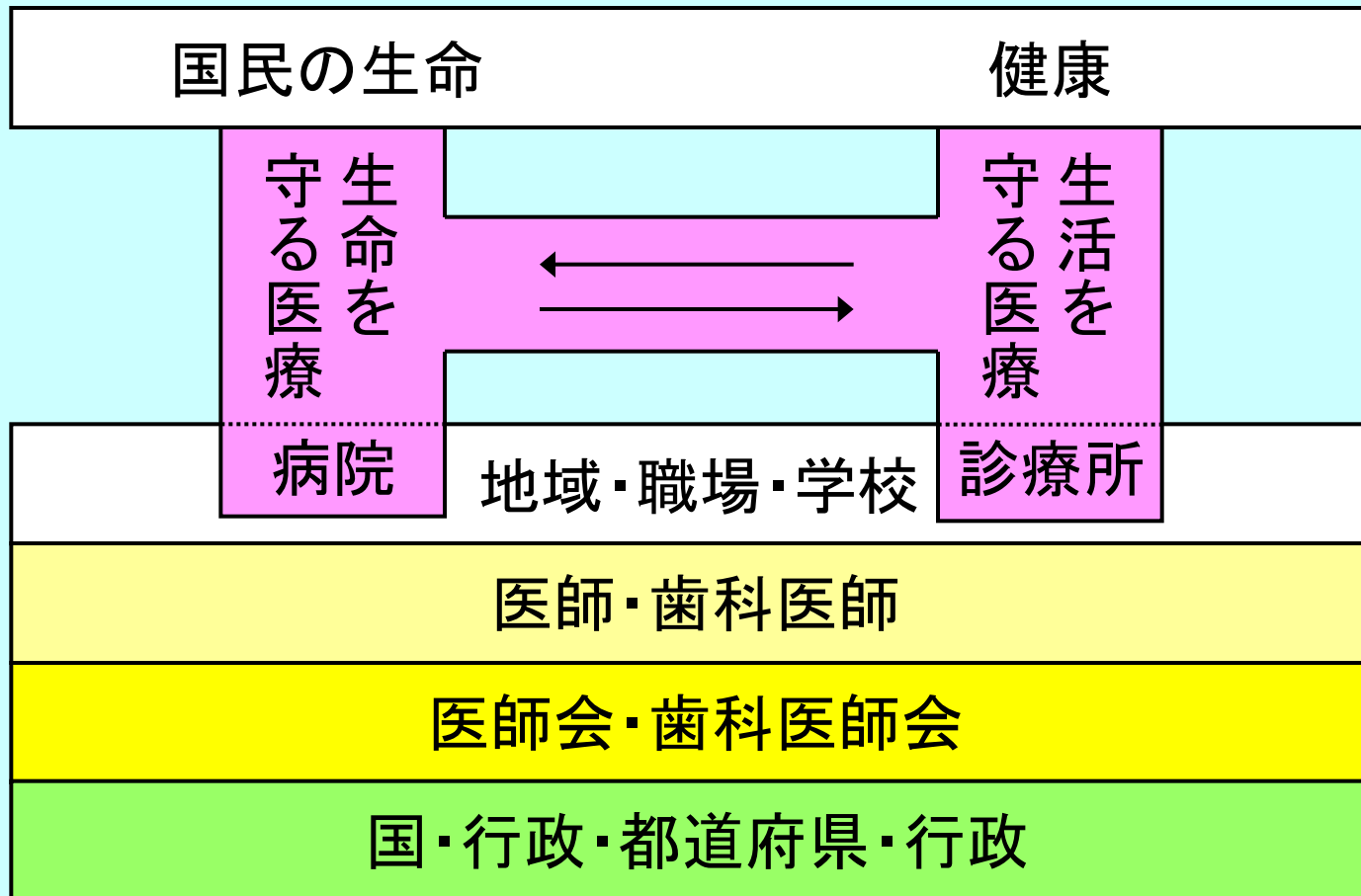
公益社団法人 日本歯科医師会
会長 大久保 満男

本シンポジウムへの歯科の関わり方について

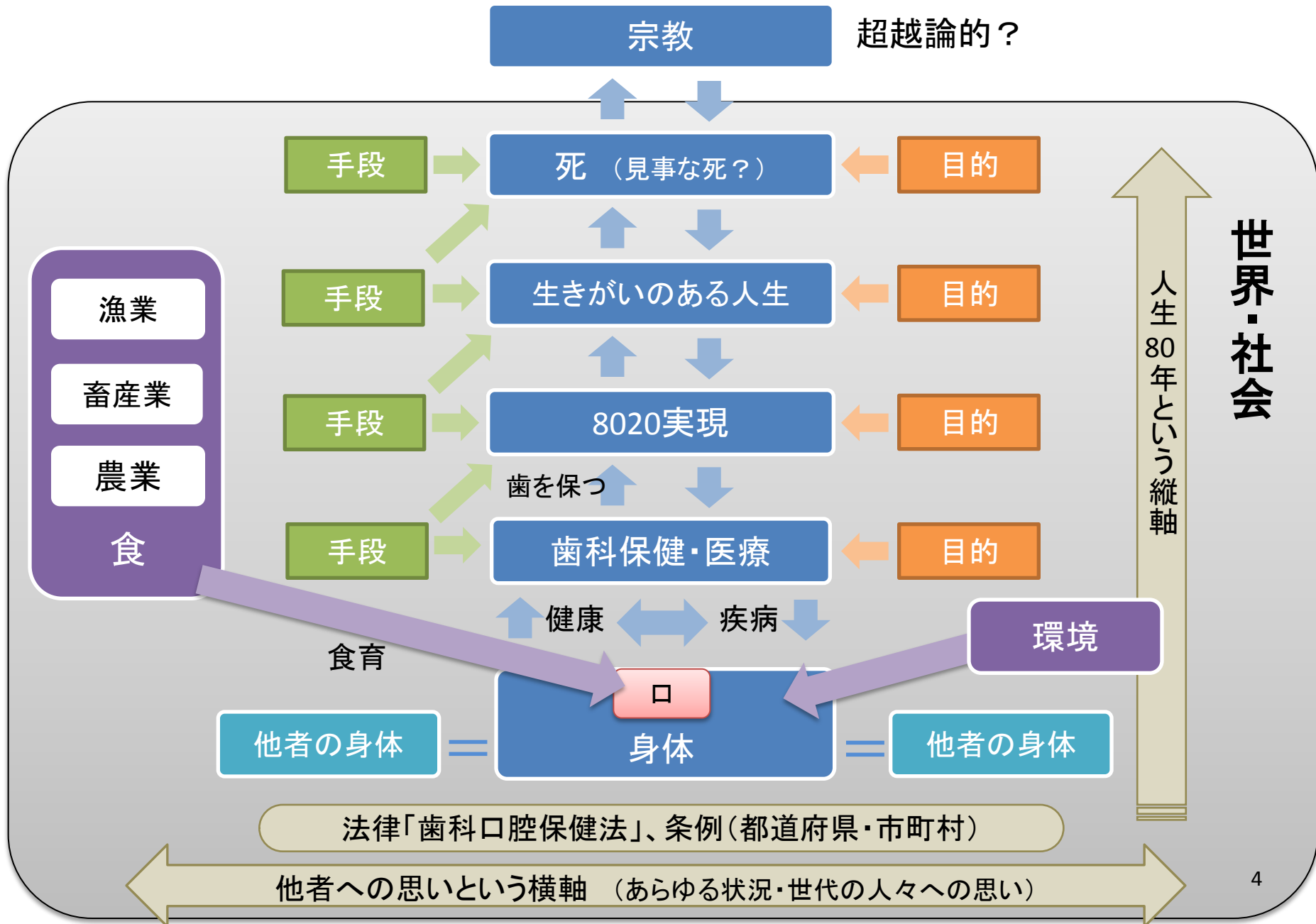


歯科保健・医療の意義の確立

口腔機能の維持・増進によって、「食」と「会話」という人間の生活の根幹に関わる「生きる力」を支援する生活の医療。



思想としての8020運動





「人間は心も体も食べ物に呼応していくもの。心の琴線に響く食事によって、いのちに花を咲かせ、実を結ばせようとする日々の営みーそれを『生活』というのです」

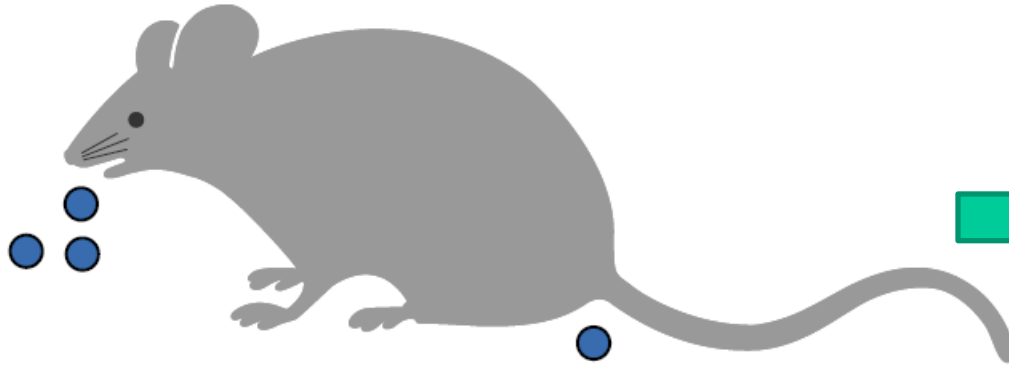
「『食』の真意は、いのちに欠かせないものというだけでなく、生物としての『ヒト』が、『人』になること、なろうとすることにあると思う」

辰巳芳子

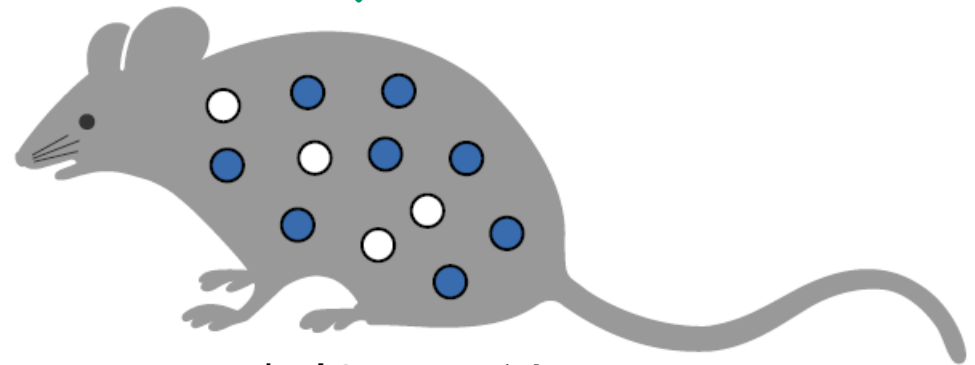
(料理研究家、随筆家)

「食」と「生命」

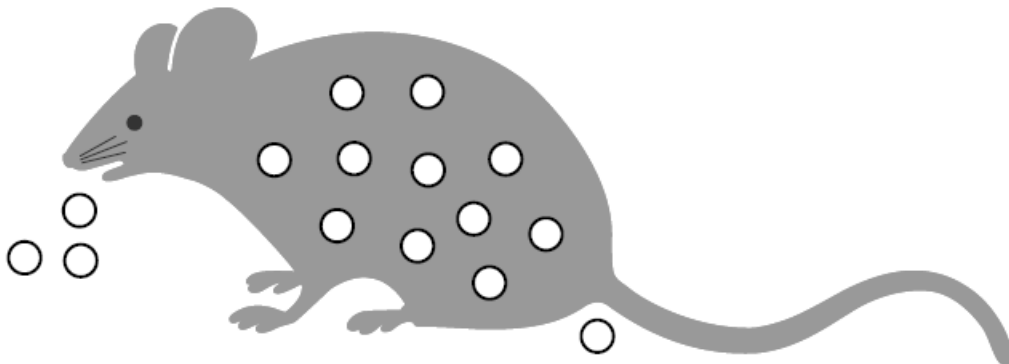
ルドルフ・シェーンハイマーの実験(イメージ)



重チツ素を含んだエサを与えると



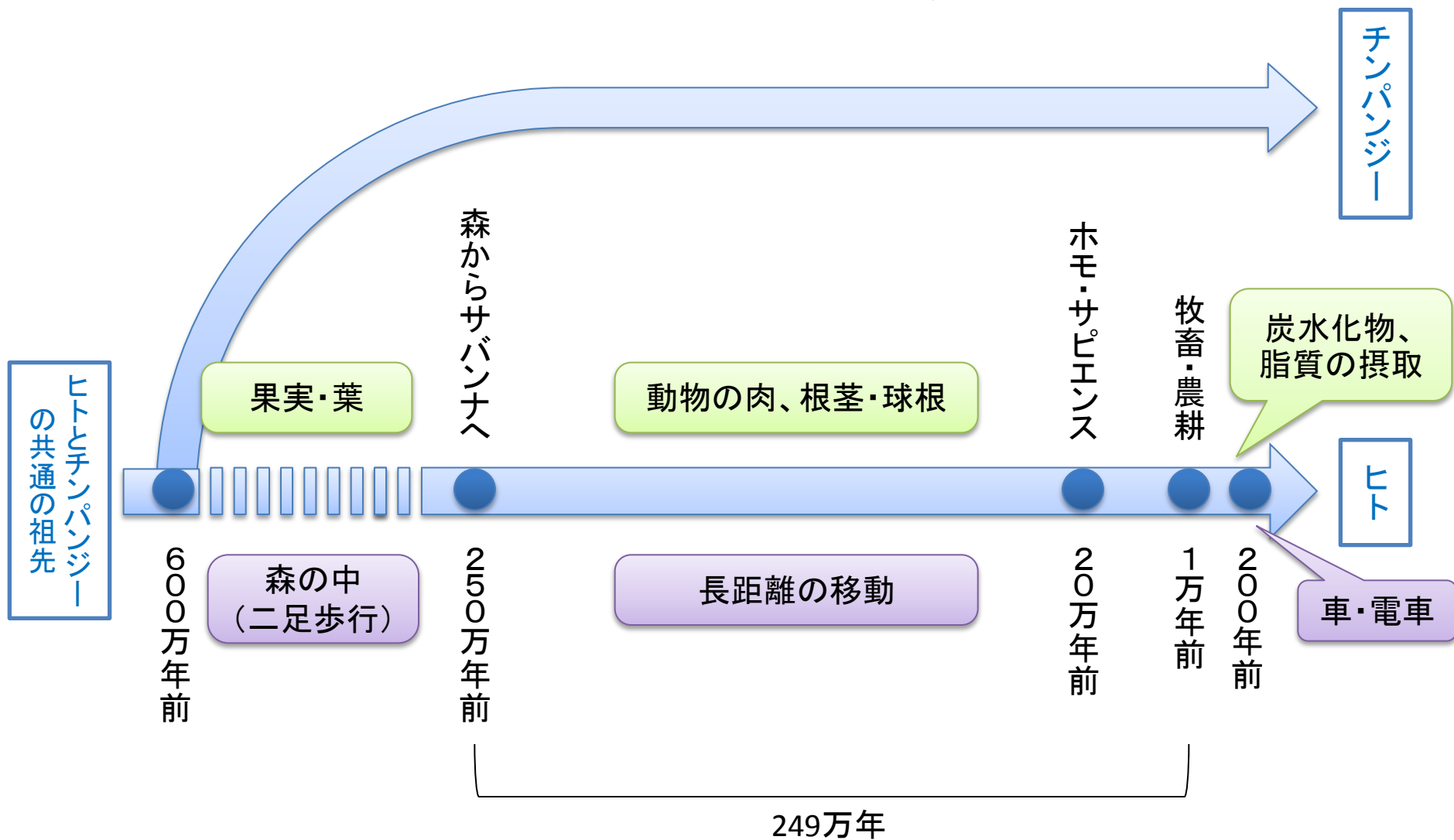
解剖してみると



さらに普通のエサを与えて解剖してみると

生活習慣病

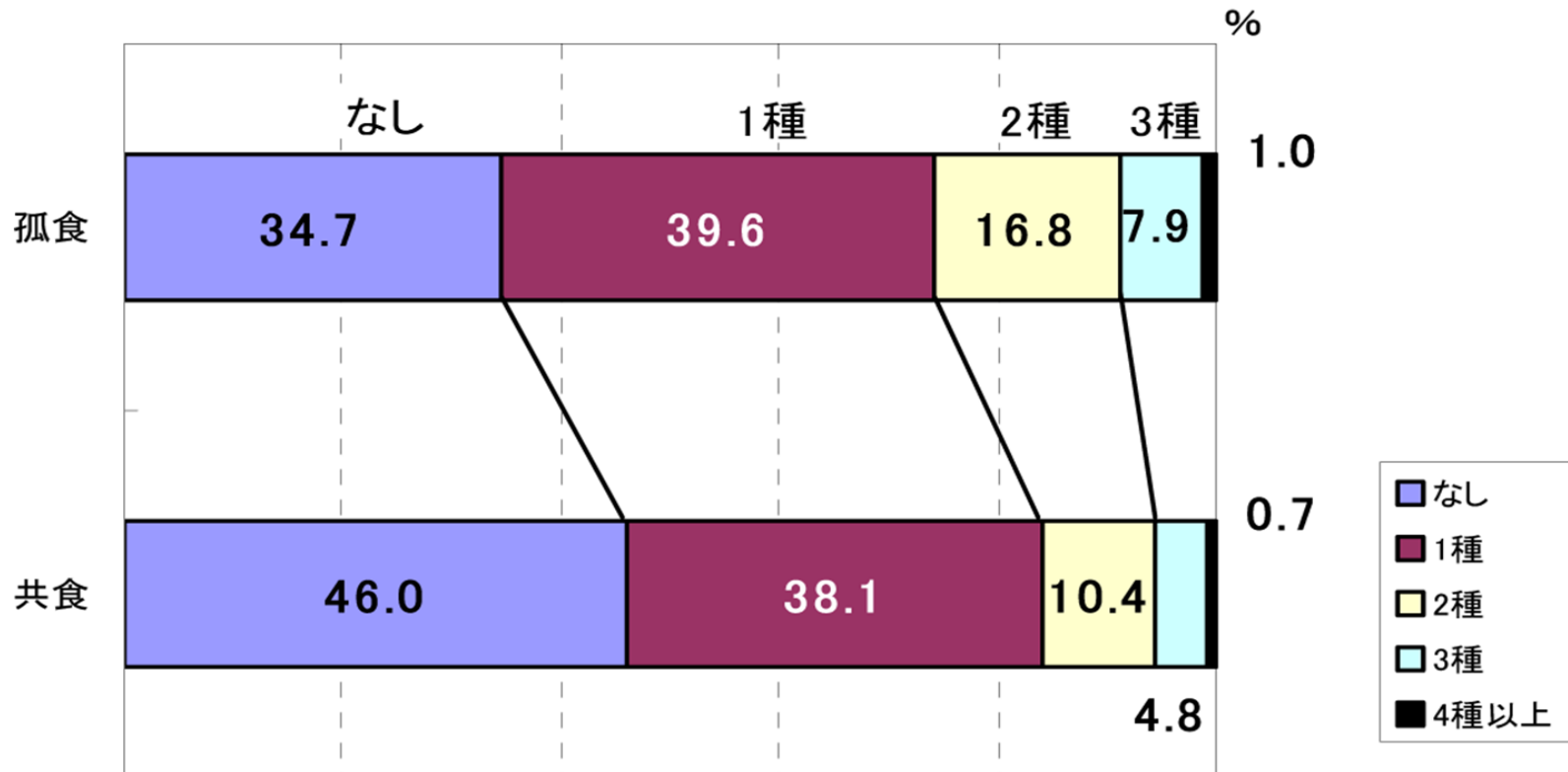
ヒトの進化と生活行動



65歳以上高齢者の朝食実態調査より

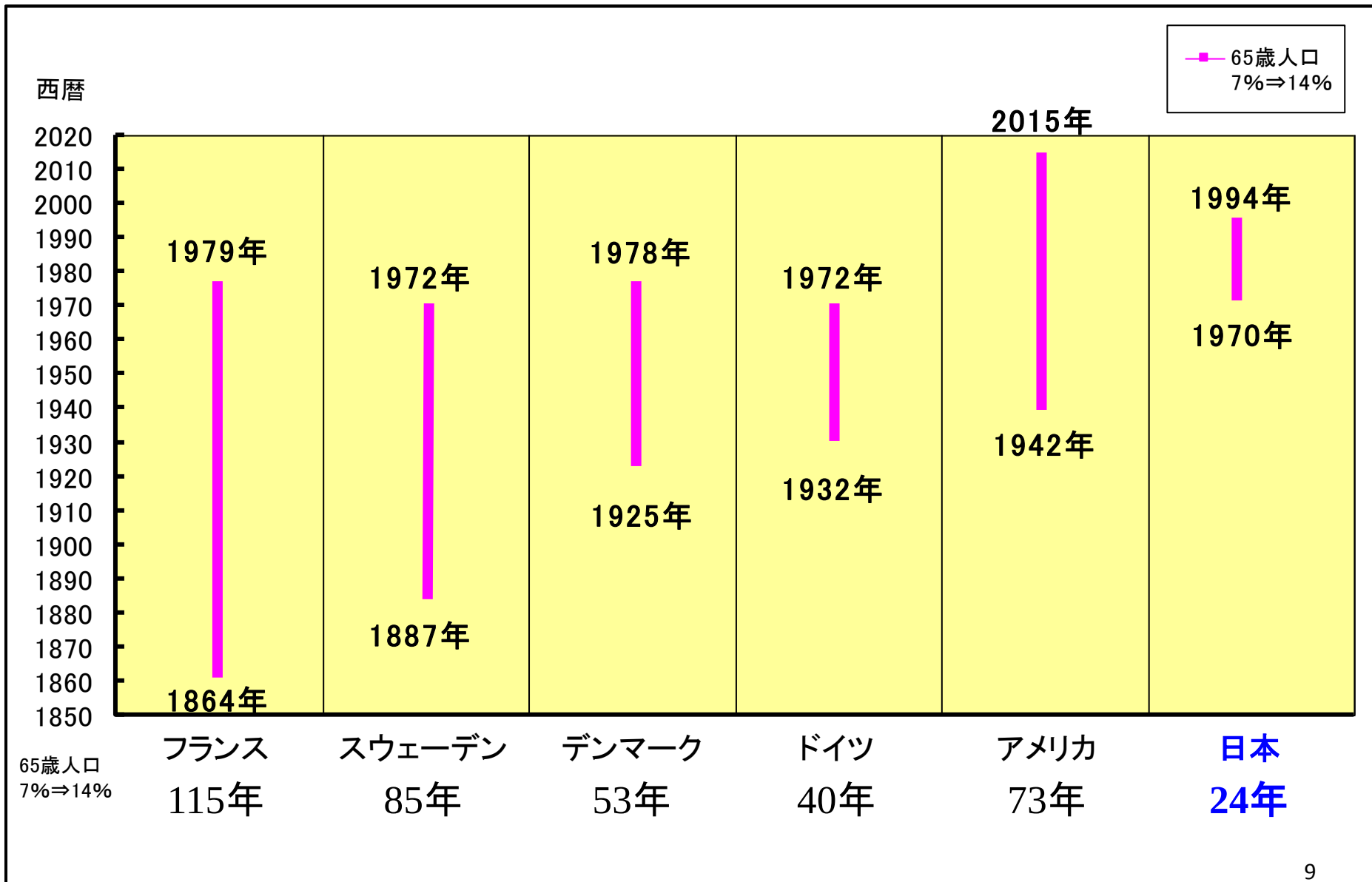
(全国農業協同組合中央会2003)

Q治療を受けている生活習慣病の数
(複数回答、孤食:101人 共食:289人)



家族と一緒に食事をする高齢者は
治療を受けている生活習慣病が少ない！

主要6力国の高齢化の速度比較



高齢社会への日本歯科医師会の基本的考え方

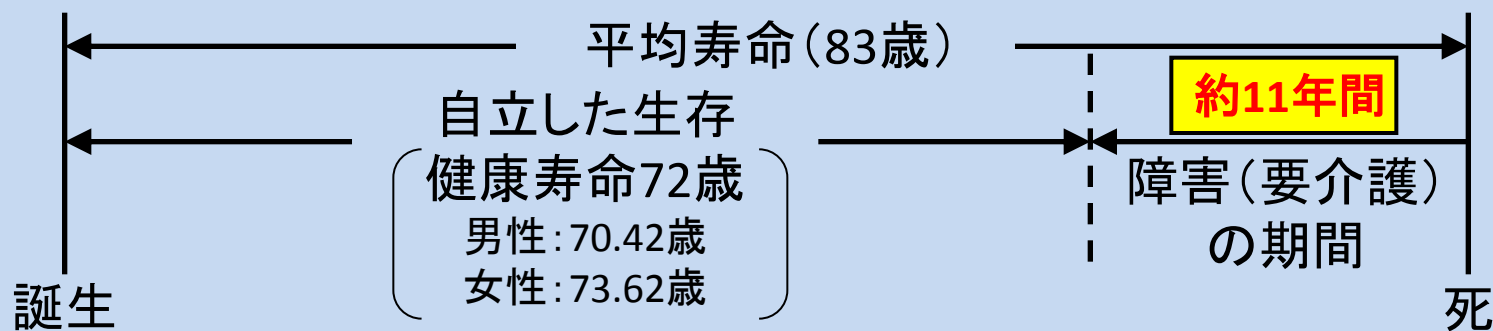
(1) 健康寿命の延伸 日本人の平均寿命の推移

	1950年	2000年	2010年
男 性	59.57	77.72	79.55
女 性	62.97	84.60	86.30

約20年 約2年

* 健康寿命を平均寿命まで

健康寿命：活動的で自立した状態（心身ともに）で生存できる期間



* 8020達成で一人でも多くの元気な高齢者を
(噛むことは健康の源)

(2) 有病者・要介護者の生活を守る

口腔機能の維持増進によって

- ① 低栄養状態の改善
- ② 口腔ケアによる誤嚥性肺炎 の防止

(3) 看取りの歯科医療の確立 (ターミナルデンティストリー)

「食」は人間としての尊厳を守るための大切な営みであり、歯科は最後までこれを支える。

＊「昨日食べたものが美味しかった」と言って逝かれるために

〈宣 言〉

- 一、平均寿命の伸びが続く中、可能な限り健康寿命を平均寿命に近づけることが国家の急務であると考え、そのために、人の基本的な営みである「食べること」と「体を動かすこと」の二つを連動させた国民運動を関係団体と連携して展開し、高齢者の生きがいを支える。
- 一、在宅歯科医療を推進し、要介護者などに対して切れ目のない歯科医療を提供することで、食べる、会話をするなど、高齢者のQOLの向上と社会性の確保を図り、「歯科医療」から「介護」を支える。

平成22年7月29日 日本歯科医師会